

11 FLAME ~ se-N-se stool kit ~



大量の生産や消費の繰り返しが許してしまう私たちの気持ちによって、森林や生物多様性の危機はより一層加速しています。

100年後の日本の木の未来、木と私たちのつきあい方。それを考えた時、今本当に必要とされていることは「モノを的確に判断し、大切にし、適切につきあっていくための感覚=sense」ではないでしょうか。

デザインやカタチ、モノをつくること。

モノに触れる（組む）・愛着を持つ（仕上げる）・大切な気持ちで接する（使う）というストーリーの中で、その感覚（デザインリテラシー）は育まれます。

一つの家具をつくるにも足りない少量の材は、買うことも売ることもされず、倉庫で忘れ去られ、家具をつくるために切り落とされた材は使えずに捨てられる。

行き場を失ったたくさんの木が日本の各地に眠ってしまっているのです。11FLAMEはこの眠っている森の恵みにもう一度命を吹き込むことで生まれます。

各地から集められる材料。色、木目、木肌、それぞれの木が放つ個性があり、表情の違いという魅力になります。

大小の単純な四角いフレームの連続が複雑なカタチに変化する面白さ。親子で、家族で…自らの手で組み上げていく楽しさ。蜜蝋で仕上げをすることで感じられる木の表情の変化。完成したスツールを使った時に感じる、出来上がりの喜びと満足感。

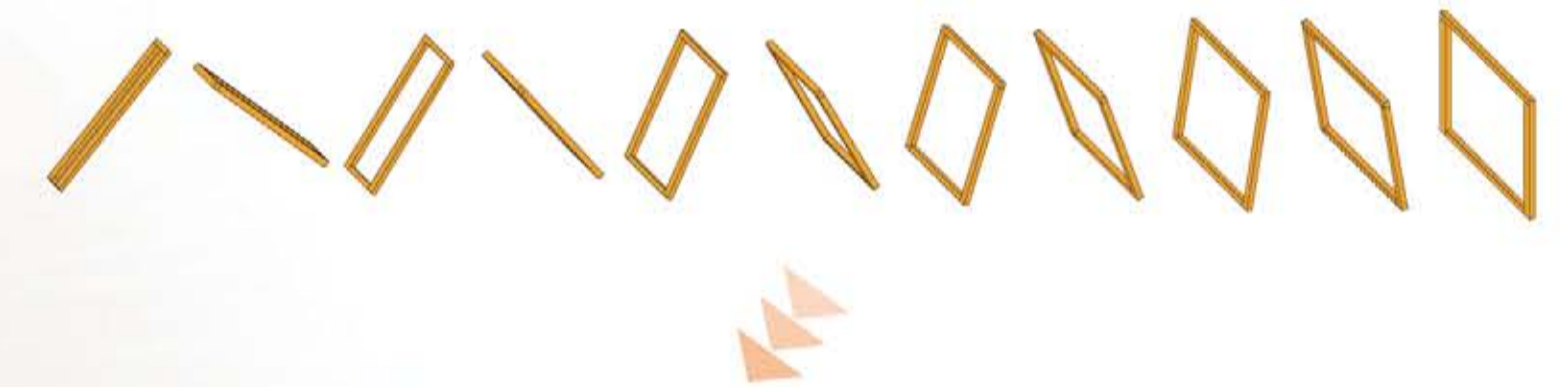
モノはいつか消費されてしまいますが、一度身についた気持ち=感覚は消費されることはありません。

100年後まで受け継がれる「気持ち」をデザインする。『11FLAME ~ se-N-se stool kit ~』はデザインリテラシー能力を育んでもらうためのキットです。

①恵みの掘り起こし…行き場を失った材の活用



②11のフレームを作りキット化…異なる材の魅力を引き出す



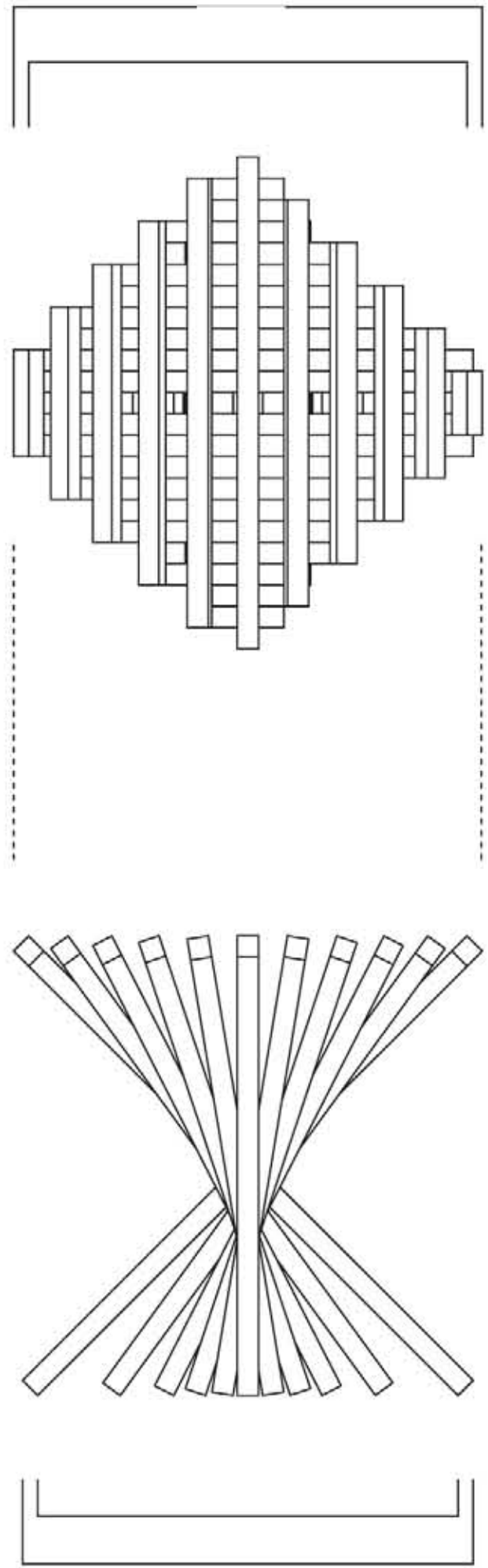
③ワークショップ…モノと触れあう機会の創出



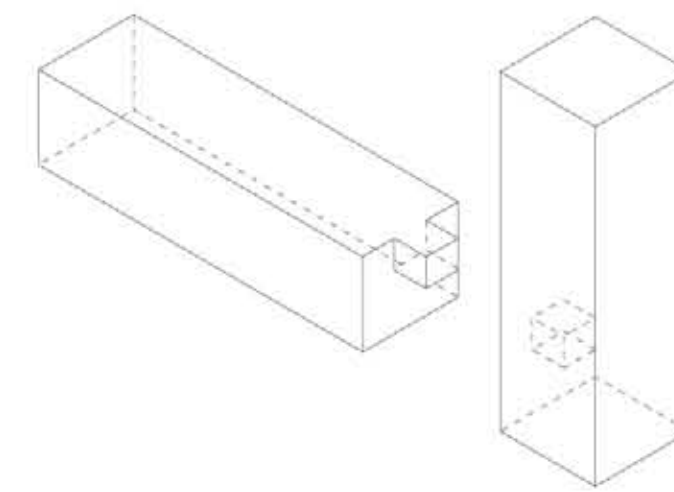
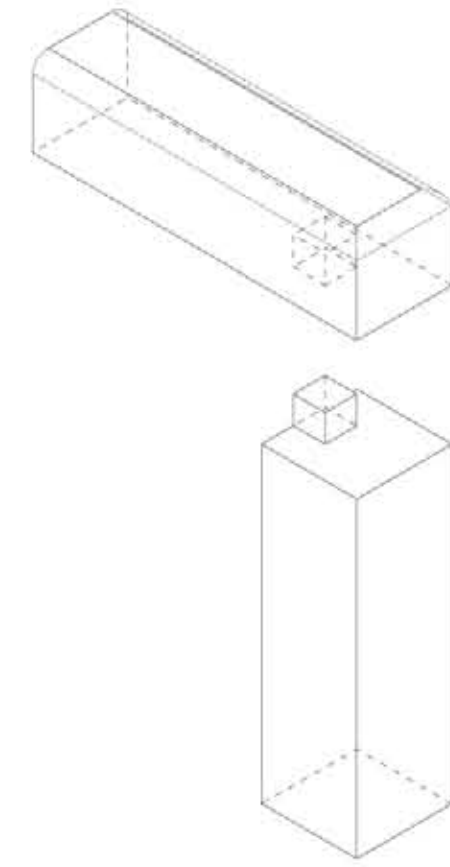
④感覚を育て、未来に継承する…デザインリテラシー能力の高い社会



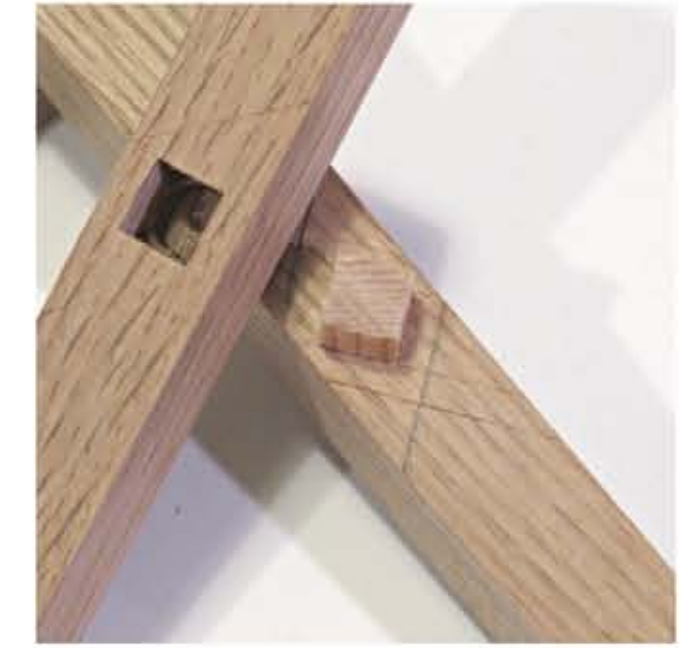
11 FLAME ~ se-N-se stool kit ~



材料：ナラ
 仕上げ：蜜蝋仕上げ
 三面図縮尺：1 / 5 (単位：mm)
 試作品は実際に木工所の端材で製作
 試作製作：有限会社 土屋木工所 (群馬県)



↑フレームの接続部分アイソメトリック
 座面は R3mm ポウズ面取り、その他は糸面取り



フレーム相互の接合部にはホゾ加工を施し
 さらにビスを打ち込み強度を確保。
 ※今回の試作品はビスのみで固定。